

# River

02号

2007.7.18

Ritsumeikan Education and  
Volunteerism Research

現代GP  
「地域活性化ボランティア教育の  
深化と発展」報告

1

学内ボランティア系サークル  
合同ガイダンス「ボラふえす」を  
開催しました！

2

2007年度  
学生コーディネータ紹介  
ぼららじ

3

私のボランティア履歴書

4

現代GP

## 「地域活性化ボランティア教育の深化と発展」報告

今回は、「地域活性化ボランティア」に焦点を当ててご紹介します。

今年度の「地域活性化ボランティア」は、昨年度と比較して2倍の応募があり、学生のボランティア教育への関心の高まりがうかがえました。また、今年度よりびわこ・くさつキャンパスでも本格的に展開されることとなり、理系学部からも多くの学生の申請がありました。

現在は、ボランティア活動・教育についての理解を深めてボランティア教育における「学び方」を理解するための「事前学習Ⅰ」が終了し、続けて各プログラムの実施団体と立命館大学ボランティアセンターが共同して実施する「事前学習Ⅱ」を順次進めています。

各プログラムによって時期は変わりますが、今後は、いよいよ現場でのボランティア活動（40時間以上）が始まります。

### 地域活性化ボランティアとは

受講生がボランティア活動を通して地域に貢献し、地域社会の一員としての自覚と能力を育み、専門地域の応用的な理解を深めることを目標とした正課の授業です。

各プログラムは、京都府・滋賀県内の行政・公的機関・NPO・地域組織などと協定を締結して行っています。

#### ●2007年度実施プログラム

- ・農山村地域の活性化：里山保全と地域情報発信、および交流支援プログラム
- ・都市と農村の共生：笹葺き古民家再生プログラム
- ・障害のある子どもたちと、地域をむすぶ「放課後ほっこりプロジェクト」
- ・環境保全と伝統文化：百人一首のふるさと小倉山復活プログラム
- ・子どもによる、子どものためのまち創りを手伝おう！「チャキッズタウン」企画・運営プログラム
- ・あなたも京都伝統文化継承の担い手になれる！時代祭応援プログラム
- ・地域の良さを活かして発信！町家活用 地域交流イベント企画プログラム
- ・琵琶湖に浮かぶ島でまちづくり！ふるさと絵図作成プログラム



2006年度地域活性化ボランティアの様子  
(里山保全と農山村からの情報発信プログラム)

## 学内ボランティア系サークル合同ガイダンス「ボラふえす」を開催しました！

5月22日(火)、23日(水)に、諒友館地下café・ROSSOにて学内ボランティア系サークル合同ガイダンス「ボラふえす」が開催されました。ボラふえすは、「ボランティアをしたい！」という学生と、「ボランティアを受け入れたい！」という団体との出会いの場として、また各団体の日ごろの活動をアピールする場として企画されました。

当日は突き抜けるような青空の下、1日目104名、2日目66名、合計170名の方が会場を訪れました。各団体がブース形式でそれぞれの活動を個性的なプレゼンテーションによってアピールをしたり、事前に各団体にアンケートをとり、「なぜ、ボランティアをしているのか」という活動の動機をまとめた映像を流し、ボランティアの楽しさを参加したみなさんに伝えました。その他にも、フェアトレードのお菓子やリユースカップを使ったフリードリンクなどのカフェスペースを設置し、環境活動や国際協力に関する取り組みをアピールしました。

この企画は、今年度参加の19団体それぞれの代表が集まって学内



ボランティア系サークル合同ガイダンス実行委員会を結成し、企画から広報、当日の運営までを担いました。

その他にも、ボランティア

センター学生コーディネータが当日の受付を担当したり、来場した学生に「どんな活動に興味がありますか？」「こんなサークルがありますよ」とコーディネーションを行ったりしました。

ボラふえす全体を通して、参加者にとってはボランティア活動を始めるきっかけとなったり、様々なボランティアサークルを一度に見学できるので、それぞれの団体の違いや雰囲気を感じ取ることができたのではないのでしょうか。また、各サークルにとっても、今回培った団体同士のつながりを今後の活動にも活かしていくことができれば良いと思います。

(衣笠学生コーディネータ  
山本 翔太)



### ボラふえす参加報告 ～実行委員の声～

当日は事前に各団体に調査しておいた、「自分がボランティア団体に入る前と入った後の、ボランティアイメージの変化」に関するアンケート結果を配布し、また各団体がブースを持って、団体説明等を行いました。一つの場所に国際系から福祉系、環境系、ラジオ関係、地域密着型の団体など、様々なジャンルの団体がそろったことで、来場者に様々な面からの「ボランティア」を感じていただけたのでは、と思います。

また来場していただいた方に、リユースカップを使用したドリンクサービスを提供しました。これをきっかけに来場者の方が、



カップ等のものを「使い捨て」から「再利用」するように、興味を持っていただけたらと思います。

来場者の方々に書いていただいたアンケートを見ると、ボランティアに興味

がある人だけでなく、そうでない人にも大勢来場してもらえました。これは、「多くの方がボランティアに触れる機会を設け、ボランティアの身近さを伝える」というコンセプトの狙い通りであったと思います。また、「ボランティアのイメージ」についても、「楽しそう」や「人と人のつながり」など肯定的な意見などが多く、このイベントを通じ、身近なものに感じてもらったのではないかと、と思います。

ボラふえすのように様々なジャンルのボランティアサークルが集うイベントは年に一度しかありません。「多くの方がボランティアに触れる機会」を今後も継続して小規模であっても皆で作っていきたくです。

また、当日配布したパンフレット(参加ボランティア団体の紹介冊子)をボランティアセンターに置かせていただきますので、ぜひご覧ください。

ありがとうございました。

学内ボランティア系サークル合同ガイダンス  
実行委員会代表  
阿部 梨紗(Rits BLOH所属)、  
中山 崇(自立のための道具の会所属)

2007年度

## 学生コーディネータ紹介 ~衣笠キャンパス編~



- 岡本 卓也(社M1)  
のんびり生きているけど、意外と忙々としています。楽しく笑って活動しています。
- 山本 翔太(産4)  
子ども分野を中心にボランティア活動しています。経験をコーディネータに活かしていきます!!
- 小嶋 知也(法2)  
夏休みは環境系ボランティアを中心に活動していきたいです。初ボランティア頑張りたいです!!
- 佐藤 奈津美(産3)  
持ち物は赤だらけ!のうるさいくらい元気な関西人コーディネータです☆笑
- 林 加奈子(産3)  
高齢・子ども分野のボラを中心に活動しています。コーディネータはボラセンにいますので気軽に声をかけてみてください☆
- 児玉 真里(文1)  
先輩たちを見習って、もっとコーディネータの勉強をしていきたいと思えます。

ボランティアセンターには「学生コーディネータ」がいることをご存知ですか?私たちはみなさんと同じ学生の立場から、ボランティアに親しめるような講座を企画したり、センター来室者へボランティアの案内をしたりといった活動を行なっています。今年度の個性豊かなコーディネータたちをご紹介します。今回は衣笠キャンパス編、次回はびわこ・くさつキャンパス編をお届けします。



- 上原 誠子(文4)  
「悪魔の兵器地雷」に問題意識があり、中学生の時からボランティアとして活動しています。
- 鍛冶 圭太(産2)  
今はボランティアコーディネーター養成プログラムを受講しています。頑張ります。ただ頑張ります。
- 北内 はるか(政3)  
京都と兵庫で活動中。交通費がなかなか痛いですが、これからは食欲ががんばります。
- 坂上 舞(政4)  
子ども達とキャンプしたりハイキングする野外活動を行っています。毎年夏は真っ黒です。
- 大山 拓哉(政3)  
まいど、大山拓哉です。平和が好きなら、ボランティアも悪くない。見かけたらよろしくお願ひします。

### レッツ ボランティア イン サマー! ~ボランティアのすすめ~

長い夏休みが目前に迫っていますが、みなさんは何をしますか?アルバイト?旅行?...いえいえ、今年の夏はぜひボランティアに挑戦してみたいかたでしよう。ボランティアセンターまで、お気軽にボランティア情報を見に来てください。学生コーディネータも待っています。



## ぼららじ

皆さんこんにちは!!ぼららじです。ニュースレター掲載二回目!!そろそろ「ぼららじ」を覚えていたたけたでしょうか?

さてさて、前回地域活性化ボランティアを継続取材していくこととお伝えしましたが、ついに始動しました!!6月の番組から放送しています。♪「あなたも京都伝統文化継承の担い手になれる!時代祭応援プログラム」はチームルーキー、「子どもによる、子どものためのまち創りを手伝おう!」「チャキスタウン」企画・運営プログラムはブルースチームが担当します☆そして、今回は新メンバーがたくさん加入しました!!



新しい風が吹く予感☆☆それぞれのチーム、新メンバーがラジオに続々出演中です!更なる飛躍を目指して、メンバー全員力を合わせて頑張っていきます!

放送は、毎週月曜日14:30~ FM79.7MHz京都三条ラジオカフェにて!!お聞き逃しなく♪インターネットでも過去の放送を聞くことができるので、こちらも是非聞いてみてくださいね♪

URLは<http://ritsvc.jp/volaradi/>です!

(産業社会学部2回生 ぼららじスタッフ 新田笑子)

### ぼららじとは

「ボランティアラジオ」の略で、毎週ボランティアを紹介するラジオ番組です。産業社会学部 坂田ゼミの学生が中心となって企画・取材・編集・収録を行っています。

ぼららじスタッフは下記のグループに分かれて交代で番組を担当しています。

- ・チームルーキー
- ・ブルースチーム
- ・ぼららじチーム
- ・パニック☆チーム

### ★ぼららじへのアクセス

- ぼららじURL <http://ritsvc.jp/volaradi/>
- ぼららじ放送 毎週月曜日 14:30 79.7MHz  
京都三条ラジオカフェ
- メンバー募集 [vr@ritsvc.jp](mailto:vr@ritsvc.jp)

### お詫びと訂正

River創刊号にて、ぼららじの周波数が797.7MHzと記載されておりました。正しくは「79.7MHz」です。お詫びして訂正いたします。



## 思いを出発点に知識と経験を 積み重ねていこう

福岡にある私の実家では、私が小学生の頃からホストファミリーとして頻りに外国人を受け入れていました。初めて私たちの家にホームステイしたのは、タイの女の子2人で、当時の私と同じ小学生でした。夏休みの2週間ぐらい、一緒にプールで泳いだり、キャンプに行ったり、とにかく楽しくて、最後に彼女たちが帰国する時には空港で号泣したのをよく覚えています。

ホームステイは無償で、かつ自発的に受け入れていたので、ボランティアでした。その意味で、私のボランティアデビューは、「気づいたら始めていたし、しかも楽しいことばかり」だったと言えます。現在はボランティアセンター主事として働く中で、「ボランティアで自己実現したい!」「ボランティア活動で社会に参加しよう!」「社会課題の解決にボランティアで取り組もう!」という声をよく耳にします。それに比べたら、当時の私にはそのような威勢のよさも崇高な志もなかったなあ…と思います。しかし、有償・無償、有益・無益、有用・無用などの枠組みを越えた「みんなで一緒に楽しいことしよう!」「誰かの役に立てたら嬉しい!」という小学生らしいシンプルな感情もまた、ボランティア精神と不可分な気がしています。

このように、ちょっと気楽なボランティアデビュー以降もボランティア活動は身近なものでした。特に、大学に入学してからは、研究テーマとのつながりで、途上国での人材開発や社会開発に携わることが多く、とても多くの貴重な経験をさせてもらいました。もうここまで来ると、「楽しいことをしよう!」という気持ちだけで走るのではなく、「途上国の現状を学びたい」「社会課題解決の一助になりたい」という欲が出ていたと思います。さらに、気楽で楽しいだけでなく、困難さや苦労にも多く出会いました。

国際協力や海外ボランティアは、大学生の関心が高く、ボランティアセンターにも頻りに問い合わせが寄せられます。実際に大学在学中から国際ボランティアに関わる学生や卒業後に国際協力NGOなどに就職を希望する学生も少なくありません。しかし、一般的にポジティブな印象の強い2つが（「ボランティア=ステキなこと」×「国際=かっこいい」）合体しているためか、イメージ先行で国際ボランティアに興味をもつ人もいます。実際に、ある国際協力NGO職員から「予備知識なく、ボランティアしたい・就職したいと言って尋ねてくる人が多くて困っている」という声を聞いたことがあります。この団体では、「ボランティアしたい」という人には、「あなたにはどんなボランティア活動ができますか?」と問い直すそうです。でも、そこで黙ってしまう人が多い。活動先の現状を知らなければ、自分がそこでどんなスキルを生かして活動できるかも想像できないからでしょう。

国際協力に限らずボランティアの現場では、課題やニーズなど、状況を的確に把握しておくことが大切なので、ほんやりとしたイメージだけではボランティアをする側と受け入れる側の双方に困難が生じます。例えば「自分の古着をアフリカに送りたい（だって、アフリカには食べる物も着る物もなく困っている人がいっぱいいる）から、送り先住所を教えてください」と相談に来た人がいたとします。しかし、実際には現地でも新しい衣類を買うより送料が高かったり、必要なのは衣類ではなく医薬品や文房具だったりします。これは、自発的で無償のボランティア精神をもってしても、うまく機能しないこともあるという例です。

しかし、私の経験から先に述べたように「誰かの役に立ちたい」という気持ちもまたボランティア精神の一部であるならば、知識や経験不足を理由に活動への門を閉ざすのはもったいない気がします。「楽しく活動しよう」「自己実現したい」「社会課題を解決するぞ」というさまざまな思いがある一方で、現場のニーズを把握し効果的にボランティアとして活動することの難しさや大切さを日々実感しています。

## 編集後記

創刊号から連続しての発刊となりました。もうすぐ夏休みですね。このニュースレターが、学生の皆さんが夏休みの選択肢としてボランティアを選ぶきっかけになれば、嬉しい限りです。

### 立命館大学ボランティアセンター 衣笠

〒603-8577  
京都市北区等持院北町56-1 衣笠キャンパス  
学而館1階 **開室時間** 10:00~18:00

**Tel** 075-465-1952  
**Fax** 075-465-1982

### 立命館大学ボランティアセンター BKC

〒525-8577  
滋賀県草津市野路東1-1-1 びわこ・くさつキャンパス  
セントラルアーク2階(アドセミナリオ1階) **開室時間** 10:00~18:00

**Tel** 077-561-5910  
**Fax** 077-561-5912